

●第 46 回 SPUMS 2017 学会レポート

2017年5月22日から27日、バリの Rama Candidasa Resort & Spa において「第 46 回 SPUMS ASM (South Pacific Underwater Medicine Society, Annual Scientific Meeting) 2017」が開催されました。

【SPUMS とは】

昨年のレポートで紹介したように、南太平洋地域を中心に活動しており、UHMS に比較してより潜水を重視した学会です。プログラム構成も独特であり、学会期間が 5 日間と長く、且つ午前中のセッションは practical workshop として、小グループに分かれてダイビングを行うので、Scientific Session は 14 時からとなります。超音波検査のワークショップも行われました。

【学会のテーマ】

今回の学会テーマは”Commercial Diving: Medical Implications”でした。潜水の長期的影響、身体適性、健康診断、服薬の問題、現場での医療サポートに必要な医療機器などについて議論が行われました。レジャーですが、日本でも RSTC の 13 METS の基準は厳しすぎるとの議論がなされていますが、海外でも HSE (Health and Safety Executive) の MA1 の基準値約 11 METS が厳しすぎると議論されていました (皆失業してしまう)。他に豪州の GP として潜水医学への関わり方 (ワンストップサービスを目指していること、メディカルリスク相談が 75-90% であること等)、フリーアセント訓練に対して圧外傷のリスクの観点から疑問を投げかけた報告、科学的潜水の医療サポートが北極圏では十分ではない一方で、南極には 4 つのチャンバーがある、等興味深い発表が行われました。

【2018 年】

第 2 回 Tricontinental Scientific Conference として、EUBS, SPUMS, SAUHMA, The Scott Haldane Foundation の共催で、南アフリカの Durban で 9 月 23 日から 29 日に行われる予定です。